

第 80 回 JAMSNET-USA 定例会議団体活動報告

2026 年 2 月 12 日 木曜日 午後 4 時 35 分～6 時 00 分

Apple Time

2025 年 11 月から 2026 年 1 月

・新会員を囲んでのおしゃべり会 11月12日 ニュージャージ エッジモントにて。

新しく渡米された家族を囲んで同年齢の小さなお子さんの家族が集まり、学校や療育、医療の話など地域ならではの情報交換、歓迎のおしゃべり会を開催。

・ボーリングパーティー 11月16日 ニュージャージ ハッケンサックにて。

当日体調不良でキャンセルの家族が複数出たが、大人と子供あわせて25名参加。マンハッタンやウエストチェスターからも参加。親子が別々のレーンでわかれてプレイするなどほかの会員家族との交流の機会も持ち、ゆっくりとボーリングとおしゃべりを楽しんだ。

・クリスマス会 12月13日 ウエストチェスター ハリソンにて。

会員家族と支援者合計76名参加。子供たちの発表会、お父さん・お母さんたちによるゲーム、恒例となったサンタクロースに扮した大きな子供たちが小さい子供たちにクリスマスプレゼントを渡すなど、兄弟も親も一緒に家族全員が穏やかで和やかな時を過ごした。

・2026年総会・新年講演会 ウエストチェスターとニュージャージ（対面）とオンラインのハイブリット開催

2025年活動報告と2026年活動計画及び予算の報告と承認。新年講演会として統合栄養公認栄養士 富岡美智子氏による「薬膳茶事と健康長寿」についてお話を聞いた。

Apicha community Health Center

Apicha で Behavioral Health サポートグループが1月20日と1月22日に2回開催されました。

このサポートグループは、互いに支え合う行動支援をするグループです。このグループには誰でも参加できますが、主にトランスジェンダーの方々やトランスジェンダーを支援する方々が交流し、経験を共有し、ストレスや孤立感を乗り越えるためのスキルを学ぶ場を提供することに重点を置いています。グループでは、安全で肯定的なピアサポート、相互理解、そして精神的健康を維持するための実践的な方法を学びます。話し合うトピックは毎月異なりますが、2026年1月でのトピックは、“Visioning Circle”で個人の目標を探求し、新しい年での可能性を思い描くための場が提供されました。14名の方が参加されました。

ニューヨークすくすく会・お茶会

活動報告(2025年11月~2026年2月分)

2025年11月7-8日 JASMNETワールド NY主催に参加

2025年12月 JCOP 2025 grant 授与

2025年1月27日 JCOP 2025 award reception に出席

2026年2月1日 Board ミーティング

第34回「すくすくお茶会」ゆりこ先生のベーキングレッスン

第1回 2026年1月29日

助産師による託児付きお菓子教室+小児科看護師による家庭内での事故予防についての講義

また育児で占拠されている日常をゆっくりベーキングレッスンするリラックスの時間にし、かつお母さま同士、お子さん同士の交流を深め横の繋がりを作る、子育ての悩みを聞いて貰ったり他人の体験談を聞く機会を作ることを目的としています。

講師:Yuriko(パティシエ)

ボランティア:林里奈、北川節子、小林弥生、Yeh 亜美、新井明日香

参加者:親子4組計8名(1組欠席)

場所:Les Confiseries de YURIKO 講師宅(Westchester)

今後の予定

「すくすく会主催」

2026年4月 妊婦さんとパートナーのためのプリママ講座 @さくらヘルス

2026年4月26日 NYキッズサイエンスフォーラム

2026年5月 心肺蘇生法ワークショップ @さくらヘルス

2026年5月末 ヘルスウェビナー by 小児脳神経内科 Dr.Kyoko Fukahori Univ. Pittsburgh

2026年9月 妊婦さんとパートナーのためのプリママ講座 @Autumn ヘルス

2026年9-10月 心肺蘇生法ワークショップ @Autumn ヘルス

2026年10-11月 ヘルスウェビナー by 小児救急医 Dr.Mika Iwano Univ. Arizona

「お茶会」

2026年3月12日 すくすくお茶会 ゆりこ先生のベーキングレッスン

2026年3月 すくすくお茶会 親子リトミック&看護師との子育て相談会

2026年6月 すくすくお茶会 ~Picnic~ in-person event

2026年10月 すくすくお茶会 ~Halloween おやこ運動会~ in-person event

NY de Volunteer

報告日:2026年2月5日

報告期間:2025年11月中旬~2026年2月初旬現

私たちはニューヨークでのボランティア活動を通じて、社会貢献の最初の一步を踏み出すきっかけを提供し、社会課題の解決に向けて自発的に考え、行動するチェンジメーカーを社会に送り出すことを目標に活動しています。

特に、異文化の中で生活する在留邦人学生や次世代の方々に対し、市民参画やボランティア活動を軸としたプログラムを提供することで、社会的な繋がりや自己肯定感を高め、心身の健康的な成長をサポートしています。

1. 活動報告

(1) バルーク大学で日本語を学ぶ学生との「やさしい日本語」会話クラス

2025年11月19日にバルーク大学の日本語中級クラスで、日本語を学ぶ学生と「やさしい日本語」を用いて会話を楽しむプログラムを実施しました。「やさしい日本語」とは阪神・淡路大震災を機に、外国人に情報を「早く・正しく・分かりやすく」伝えるために考案された日本語です。難しい語彙や複雑な言い回しを避け、相手の理解に合わせて歩み寄る話し方であり、日本人ボランティアは事前にオンラインで「やさしい日本語」について学習した上で当日の会話に臨みました。

当日は学生より「日本の会社文化(残業など)をどう思う?」「日本で結婚したくない人が増えているのはなぜ?」「文化の違う外国人と日本人はうまく共生できる?」などの真剣な問いが挙げられ、ボランティアとしても密度の高い会話ができたと実感がありました。事前に学んできた「やさしい日本語」を実際の会話で用いながら、バルーク大学の学生と共に日本の社会課題に向き合うという貴重な時間を過ごすことができました。



(2) NYPL (ニューヨーク公共図書館) 日本語講座

9月18日よりスタブロス図書館で開催されている、ニューヨーク公共図書館主催の日本語講座において、日本語ネイティブとして講師のサポートをするボランティアを募集しています。11月13日、11月20日、12月11日、12月18日に講座が開かれ、それぞれ約2名のボランティアが参加しました。

日本語初学者がひらがな・カタカナの読み書きから、簡単なあいさつまでを学ぶ内容です。アシスタントとして、日本語の発音のお手本を示したり、生徒からの質問に答えたりしながら学習をサポートしました。

外国の方々に日本について関心を持っていただくきっかけとなるだけでなく、ボランティアとして参加する側にとっても、社会課題や社会貢献への関心を深める貴重な機会となりました。

(3) コロンビア大学、ニューヨーク大学の学生との言語交流

コロンビア大学が主催する、日本語を学ぶ大学生と日本語母語話者が交流する「日本語チャットクラブ」へ、日本人ボランティアを派遣しています。2025年秋学期の11月14日、12月5日、2026年春学期の1月30日にはそれぞれ約5名のボランティアが参加しました。毎回募集開始から数時間で定員が埋まるほど人気が高く、笑顔があふれるあたたかな交流の場となっています。

また、2025年12月5日には「コロンビア大学日本語4年生クラスのプロジェクト発表会」も実施されました。SDGsに関する学生の発表を聞き、日本語でフィードバックや質疑応答を行うボランティアを募集し、13名のボランティアが参加しました。発表テーマは国際和平、水質汚染問題、教育格差など多岐に渡り、日本人ボランティアにとっても学びが多く刺激を受けたという感想が寄せられました。

2025年11月25日、12月4日にはニューヨーク大学の学生との日本語会話の授業がオンラインで実施され、約20名のボランティアが参加しました。日本語だけでなく英語で話すセッションもあり、外国語を使って意思疎通するために何を工夫するべきかをお互いに考えるきっかけとなりました。

互いの言語や文化に興味を持ちながら、学び合い・励まし合う時間を通して、参加者同士のつながりも少しずつ広がっています。

(4) フリーペーパー『Daily Sun』での連載

この連載を通じて、ニューヨーク在住の日本人の皆様（個人・企業を問わず）が、社会貢献により一層関心を持ち、行動に移すきっかけとなればと願っています。

第6回は「2025年10月に実施した日本の高校生向けのグローバル・リーダーシップ・スタディ・ツアー（Global Leadership Study Tour:GLST）当日の様子」、第7回は「GLSTのプロジェクト企画を担当した運営スタッフの声」、第8回は「2025年11月に実施したバルーク大学の学生との言語交流プログラム」をご紹介します。

▼記事はこちら：

第6回：<https://www.dailysunny.com/2025/11/26/column251126-2/>

第7回：<https://www.dailysunny.com/2025/12/31/column251230/>

第8回：<https://www.dailysunny.com/2026/01/26/column260126/>

今後も毎月第4月曜日にWebにて掲載される予定です。是非ご一読ください!

2. 今後の予定

(1) St. Joe's Soup Kitchen

2026年2月7日(土)、3月14日(土)@The First Presbyterian Church

(2) 第31回 NECTJ 文化祭

2026年2月12日(木)@ハンター大学

(3) Global Leadership Study Tour

2026年3月18日(水)@自然史博物館

(4) "Japan Parade & Street Fair" 2026

2026年5月9日(土)

引き続き、様々な活動を企画中です。

公式 SNS では、ニューヨークでのボランティア活動の魅力やイベント情報を配信中!
たくさんのフォロー&いいねをお待ちしています♪

Instagram: @nydevolunteer

<https://www.instagram.com/nydevolunteer/>

Facebook: NY de Volunteer (JPN)

<https://www.facebook.com/NyDeVolunteerjpn>

引き続き hybrid にてカウンセリングや法律相談をはじめ様々なサービスを提供。二月は Teen Dating Violence Awareness Month ということでティーンエイジャーたち、そしてその両親や保護者を対象に Teen Dating Violence 防止を目的とした啓蒙活動やワークショップを多く企画開催予定。

フィラデルフィア日本人会

80 回定例会活動報告 02/2026

1. 秋のランチ会 シニア和の交流会メンバーを中心に、11月19日(水)に Momoyama Ramen & Hawaiian BBQ restaurant にて、ランチ会を開催。合計で 17 名のメンバーが集まり、昼食を楽しみながら、近状報告 や情報交換を行い、交流を楽しんだ。
2. 東和エッセイコンテスト授賞式 米国在住の中高生が日本語で自分の考えを表現する東和エッセイコンテストの第24回授賞式を2026年の1月10日(土)に開催。1名を除く、9名の受賞者の他に、審査員や、ご後援いただいているニューヨーク領事館の松永領事部長、ご協賛いただいている講談社 USA パブリッシング様や、フィラデルフィア日米協会様にもご参加いただいた。次回の第25回のコンテスト開催に向けて、今回の 学びを活かし準備を進めていく予定。
3. 新年会 2026年1月18日(日)の12時より、フィラデルフィア日本人会恒例の新年会を、フィラデルフィアの The Drexelbrook にて開催。今年は、在ニューヨーク日本国総領事館より片平大使・総領事と松永 領事部長を来賓としてお迎えし、合計で90名弱の新年会を開催。伝統武道・居合道や2026年にちなんだ26回の四股パフォーマンス、コーラスグループによる2曲の歌唱、歌とダンス、ラッフルなどの 企画で参加いただいた皆様に楽しんでいただくことができた。今年は、新規入会メンバーの新年会 参加が多く、18名の新しいメンバーも含め、日本人会のそれぞれが一年の始まりを祝い、交流を深めることができた。

ニューヨーク日系人会/JAA

「NY 日系社会を助ける」

助け合って100年をモットーにボランティア活動を通して、活動をしています。

1. オフィスは月曜日から金曜日、午前9時から午後5時まで、in person や電話での相談を随時受け、各専門機関への紹介を行っています。
2. 毎月、日本人の弁護士による日本語での電話無料法律相談室(移民法、相続・遺言、諸問題)を行っています。
3. グリーンカードの再新 Renewal、米国籍の方への日本の年金受給権者状況届の提出、メディケアやソーシャルセキュリティーベネフィット申請手続き支援。
4. シニアへのお食事会/敬老会を2025年12月11日と2026年1月22日、2月12日&26日に開催。会場での会食とピックアップ&デリバリーで、毎回120個前後のお弁当を用意しています。高齢者への Health Care Proxy の重要性と記入の仕方の説明や詐欺の注意、厳冬における注意

点のお話や、日本語の懐かしい歌や毎月のお誕生会を行っています。

5. 12月5日に「JAA 118周年記念晩餐会を開催。約200人が集まり、盛会でした。

6. 2026年1月27日に年次総会を開催、2026年度の役員・理事・名誉役員、各委員会の委員長が承認されました。2026年度の活動開始です。

JASSI (Japanese American Social Services, Inc.)

【活動報告】

現在継続中のプログラム

- **Hotline Program** : JASSI のホットライン・プログラムでは、英語と日本語にて電話、Eメールや面談にて情報提供や各種機関紹介などのサービスを提供しています。必要に応じて危機介入やケースアシスタンスも行なっています。
- **Health Navigator Program**: JASSI には現在、ニューヨーク州認定の保険申請カウンセラーが3名在籍しており、ニューヨーク州にお住まいの方を対象に、公的健康保険の新規加入や更新手続きに関する支援を、日本語で無料でご提供しています。勤務先で健康保険が提供されていない方、あるいは提供されていても自己負担額が高額な方、自営業の方、留学生の方などのために、ニューヨーク州では米国での滞在資格の種類にかかわらず、公的健康保険に加入することが可能です。これらの保険プランは、世帯収入に応じて、月額保険料が無料または低額となる場合があります。
- **Senior Program**: JASSI のシニアプログラムでは、60歳以上の方に電話、Eメールや面談で情報提供や各種機関紹介などのサービスを提供しています。必要に応じてケースアシスタンス、自宅訪問、フレンドリービジットも行なっています。現在約500名のシニアメンバーが登録されており、そのうちの約半数が一人暮らしをされています。
- **Caregiver Program**: ニューヨーク市老齢局の助成金による JASSI のケアギバー・プログラムでは、60歳以上の方の介護をされているケアギバー（介護者）への支援を行なっています。公的支援や在宅介護等に関する情報提供や物品補助、精神的支援、また休息をとるための支援などを提供しています。
- **Community Outreach Program**: JASSI のコミュニティ・アウトリーチプログラムで、JASSI の活動・プログラム紹介や公衆教育を提供しています。ウェブサイト、JASSI Reports、Eニュースレター、Facebook、X（旧 Twitter）、日系オンライン掲示板、日系新聞やメディアを通して JASSI の活動紹介や役立つ福祉情報を配信しています。また、JASSI のウェブサイトがリニューアルされ、可能な限りより多くの方に利用していただ

けるよう、WEB アクセシビリティに対応しております。こちらのウェブサイトには多岐にわたる福祉情報が掲載されておりますので、是非アクセスしてみてください。

継続実施:

- 対面茶話会:毎月第2月曜日に開催
- リモート茶話会:毎週月曜日に開催(第2月曜日を除く)

Womankind

活動報告(Feb 2026)

今期は団体として通常レベルのアウトリーチ活動を復帰させる。移民コミュニティの支援をメインとしているウーマンカインドでは昨年の新政権発足後、コミュニティやスタッフの安全を危惧し、アウトリーチ活動を極めて意図的に行う方針を取っていた。

クライアントへの支援は引き続き通常時と同じ体制で対応しているが、メディアで毎日のように取り沙汰されるポリティカルバイオレンスに多くのコミュニティメンバーが影響を受けていることは明らかである。それゆえ今後ともウーマンカインドではクライアントがこのような政治下でも安心して支援を受けられるよう、工夫と配慮をしながら業務を継続する。

活動:

1月に13回目となるウーマンカインドの人身取引カンファレンスを開催した。

今年のテーマは The Power of Collaboration in an Era of Uncertainty

パンデミック後オンラインでの開催に移行したカンファレンスも今年で13回目を迎える。

前半にパネルディスカッション、後半はブレイクアウトグループ(Language access, Legal access, Education for Employment)にて参加者がより密に話し合える場を設けた。

以上

Sanctuary for families

引き続き hybrid にてカウンセリングや法律相談をはじめ様々なサービスを提供。

二月は Teen Dating Violence Awareness Month ということでティーンエージャー

ーたち、そしてその両親や保護者を対象に Teen Dating Violence 防止を目的とした啓蒙活動やワークショップを多く企画開催予定。

もみの木

2025 年 2 月～2025 年 2 月 5 日までの活動報告

子育てグループ

〈親子お話し会〉

火曜日月に 2 度午前 10 時 30 分より午後 1 時 00 分ごろまでランチ（お弁当持参）で親子お話し会を行ってきたが、平日は仕事をする保護者も多くなった。子どもはデイケアに預ける保護者が多い。また、日本人教会で、無料の英語教室（小さいお子さんを無料で預かる）のサービスが始まり、親子教室に来る保護者は開催しても参加人数は 1 組または 2 組に減ってしまった。参加者の保護者が仕事をする方が多くなったことを考慮し、土曜日に開催を試みたところ参加者がいつも 10 組程度になった。2025 年 10 月よりひと月に 1 回土曜日の親子プログラムを参加費無料で提供している。

ここでのプログラムは、お話し会というよりも、お教室で、外遊び、サークルタイム、体遊び、おやつ（リンゴなど果物を提供）、絵本や人形劇という、75 分程度のプログラムを提供している。

〈図書貸し出し〉

引き続きメリーランド州のたんぼぼ学園日本語幼稚園・小学部低学年に貸出し 貸出あり 蔵書の倉庫をレンタル開始 蔵書のための倉庫の引っ越し予定

〈中学生・高校生日本語ボランティア〉

日本語でお手伝いの必要のあるグループや個人を対象に、日本語で読み書きなどの対応が可能な中学生・高校生のお手伝いを送るサービス。中高生は、ボランティアサービスの時間を得て、カウンティに提出することができる。

引き続き日本語で対応できる中・高校生が土曜日 9 時 00 分～2 時 00 分まで土曜日日本語幼

稚園・小学校でボランティアをしてくれている。週平均6人程度の中・高校生がボランティアをしてくれている。

〈コミュニティビルディング〉10月26日「ノルマル17歳—わたしたちはADHD」の上映会（もみの木、たんぽぽ学園、メリーランドメンタルヘルスネットワーク共催）

・「ノルマル17歳」の映画の上映のための資金ファンドレイズ開始9月から

・映画上映のための、参加者募集と上映と監督滞在中のお世話

・映画上映のための会場設定と費用等の会計処理

・上映日のロジスティックス

2026年1月27日 実施予定でしたワシントン商工会新年会のお手伝い 日本の伝統的なお正月遊びなどのブースを前準備・わなげブース、射的ブース、むかし遊びブースなどのルール表作成、看板作成

もみの木シニアサポート

【シニアサポートを行う中で気になっている点・専門家に相談したいこと】シニアケアに関わる中で、近年特に気になっている点があります。冬の時期は、風邪やインフルエンザの流行により人との対面が難しくなることに加え、寒さや雪の影響で外出の機会が減り、人と話す機会が極端に少なくなるシニアの方が増えています。

そのような状況が続くことで、認知機能の低下が進んだり、抑うつ状態になってしまう方が増えているのではないかと強く感じています。特に90代を過ぎた方々の場合、80代半ばまでのシニアの方々とは健康面・生活面ともに必要なケアの在り方が異なり、よりきめ細やかな対応が求められると感じています。また、90代後半の方々のメンタルヘルスについても大きな不安があります。不安感や孤独感をどのように和らげていけばよいのか、できるだけそのお気持ちに寄り添ったケアを行いたいと考えていますが、現場の経験だけでは限界を感じることもあります。

そこで、90代後半のシニアの方々の心のケアについて、具体的な関わり方や不安を軽減するための実践的なアドバイスを、シニアケアを専門とする心理士の方にご相談できないかと考えています。JANMSNETを通して、「シニアの心のケア」について専門家の方にご相談できる機会をいただきましたら、大変ありがたく思います。

●シニアランチ会9月16日 参加者10名 ポットラック形式

●シニアランチ・クラフト会 参加者7名

11月6日 会場提供者:参加者のシニアホーム ランチ:ポットラック形式

- 90歳以上の一人暮らしのシニアにおせち料理を届け、新年のお祝いをする

1月2日 おせち料理 7名分

- 2月1日 98歳のお誕生会 参加者6名

2025～26年ひなたぼっこ会 活動報告

会員人数（現在）32名

日時	場所	トピック	参加人数
2月25日 2025年	ハイブリッド	「ライフスキルをつけるために親が出来ること」 アイスブレイカー:大人になってから身につけたこと、出来る様になったこと	計8名
3月25日	ハイブリッド	「あったらいいな、こんな支援」 アイスブレイキング:「今までで一番驚いた支援・設備・装置など」 司会:直子	計4名
4月22日	ハイブリッド	【ゲストスピーカー】柴尾聡子先生 「アメリカの心理士さんってどんなことするの?」	計4名 オンライン3名
5月27日		各自勝手にクラフトデーwith おしゃべり	4名
6/1/2025		特別企画 BBQ	27名
6月10日		今年もお疲れさまでした会	6名+2子
9月20日(土) 10:45-12:45 (rental hours:10:30-1pm)	ハイブリッド @Kensington park library Party Room (capacity 100)	アイスブレイク:「夏休みのエピソード・学校再開の様子」	計8名
10月17日(金) 9:00~10:00	オンライン	【ゲストスピーカー】坂本幸司先生 「生徒の社会参加に向けた取り組み～学校教育目標の達成に向けた具体的な教育展開の展開を通して～」 司会:直子 録画配信	計2+2名

11月21日(金) 12-3pm (12:15pm-1:45pm online)	ハイブリッド@@Kensington park library Party Room	「思春期ってどうなるの・二次障害への対応は?」 アイスブレイク:「(00年前の)ティーンの自分に向けて伝えたいことは?」	計2+2名
11月22日(土) 映画の上映会の時に ひなたぼっこ広場	対面	オープンハウス:「ひなたぼっこ広場」 <ul style="list-style-type: none"> ● 一般に部屋を開放(一回目の上映後から2時まで) ● ひなたぼっこメンバーは来ても来なくてもOKなのでプライバシーは守られる 	
12月9日(火)11時半~	対面	忘年会@Pike KitcherPike Kitchen レストラン	計8名
1月10日(土) 10:45-12:45	ハイブリッド @Kensington park library Party Room	「ソーシャルスキルを育てるには?」 アイスブレイク:「自分にとっておきのソーシャルスキル技」	

ニューヨーク日本人教育審議会教育相談室

(2025年11月6日～2026年2月5日)

前回(2025年11月)以降の活動報告をいたします。

1) 無料電話・メール相談

• 相談内容は、特別支援サービスを米国でどのように受けられるかという問い合わせや、学習や学校適応の相談、バイリンガルの子育て(とくに言語に関して)不登校あるいは登校しぶり、発達障害の疑いに関しての問い合わせが依然として中心になっています。米国の special education system をご説明して、保護者からのリファラルの仕方のご案内しています。

• 通常無料電話相談の他に、メール相談も引き続き行なっています。• 相談は、ニューヨーク近郊にとどまらず、他州からの相談や日本から赴任を前にして準備段階で相談して来られる方もいます。

2) 面接相談

• 基本的に相談室での面談をしています。ただ、オンラインの利便性も活用してご希望によってオンラインでも行っています。

3) その他の活動 <JAMSNET WORLD メンタルヘルスネットワーク 第1回総会>・11月16日(日)にオンラインで開催されました第1回総会を教育相談室の森が JAMSNET 日本の鈴木先生と一緒に中心になって企画・準備・実施いたしました。

<ワークショップ>

• 東京大学先端技術研究センター社会包摂システムの教授・研究員の方々がアメリカの現地校や日本人学校等の合理的配慮や学習支援の状況を視察に来られ、ご案内し、情報交換の場を設定しました。11月15日(土)にはニューヨーク補習授業校 LI 校で、高校生や教職員を対象にした学習支援ツールの活用についてのワークショップをしていただきました。高校生のワークショップでは、ページをなぞると読み上げてくれる電子ペンなどの学習支援ツールを紹介していただき、また高校生からも日米の学校教育現場での体験に基づく意見交換が活発に行われ、障害の社会モデルに関して改めて考える良い機会となりました。

<ウェビナー>

• 11月30日(日)に朝日新聞の教育者向けのウェビナーで、アメリカの学校では多層支援システムを使って、学習面、行動面、メンタルヘルスの面でのサポートをしている現状を相談室のバーンズが解説しました。600名以上の参加がありました。

• 1月20日(火)には、文科省からの依頼で、4月に全世界の日本人学校、補習授業校に派遣が内定している教員・管理職500名を対象に、海外での特別支援教育についてのウェビナーを行いました。

今までの JAMSNET のネットワーク(ドイツ、フランス、シンガポール、マレーシア、ベトナム等)から得た情報も共有しながら、日本語のリソースの少ない海外で学校ができる対応について解説しました。

今後、3月あたりに教育相談室主催のウェビナーと無料個別相談を企画中です。



バーンズ聡子
ニューヨーク日本人教育審議会・教育相談室
副議長/代表 邦人メンタルヘルスネットワーク

4) 報告 米国日本人医師会の JCOP に応募し、今年度も多大なグラントをいただきました。私どもの教育相談室を継続して支援いただき、感謝いたします。1月27日にオンラインで授賞式があり、森が教育相談室を代表してスピーチを行いました。

NY 邦人メンタルヘルスネットワーク・JAMSNET ワールドメンタルヘルスネットワーク

報告日:2026年2月 前回定例会(2025年11月6日)からの活動報告

NY 邦人メンタルヘルスネットワーク・メーリングリストによる連携協力:

メンバー同士の情報交換を常時行っています。メンバー各々の専門分野での有益な文献やウェビナーなどの情報、リファラール情報、日本のメンタルヘルス事情など、様々な情報を共有しています。

JAMSNET ホームページでの NY 邦人メンタルヘルスネットワークによる無料メール・電話相談:

子どもに関する相談は NY 日本人教育審議会教育相談室でバーンズと森が、DVに関する相談は WOMAN KIND の永尾氏が、それ以外の大人の相談は他のメンタルヘルスネットワーク有志で受け付けています。

オンライン会合:

前回の定例会の10日後、11月16日にNY邦人メンタルヘルスネットワークの主催で、第一回JAMSNETワールドメンタルヘルスネットワーク総会をオンラインで行われました。この時点でのJAMSNETワールドメンタルヘルスネットワークへの登録者数は102名で、第一回オンライン総会へはアメリカ、カナダ、日本、アジア、ヨーロッパから48名の参加がありました。世界に散らばるメンタルヘルス臨床家が一堂にオンラインで介する意味深い会となりました。冒頭挨拶はJAMSNET創立者である本間俊一先生と、在NY日本国総領事館に着任されたばかりの片平聡大使から紙面でのご挨拶をいただきました。片平大使のご挨拶には在留邦人のメンタルヘルスケアの重要性に触れられ、われわれ邦人メンタルヘルス臨床家は本来外務省がなすべき邦人へのメンタルサポートを行っている、そのことに感謝する」と書かれていました。今後JAMSNETからも、在NY総領事館からも、全面的にサポートしていきたいという心強いお言葉を頂きました。

総会では、まず昨年JAMSNETワールドメンタルヘルスネットワークの概要(ミッション、目的、規定他)を改めて参加者で確認しました。次に各地代表者から、アジア(吉國泰代医師)、ヨーロッパ(ホーネカムプ山本有)、日本(鈴木満医師)、カナダ(許斐由紀子氏)、アメリカ(バーンズ静子氏)、それぞれの地域の①邦人メンタルヘルス事情と特徴、②日本語による心理療法のニーズとAvailability、③今後の課題についてご発表頂きました。その後質疑応答と今後の活動についてディスカッションを行い会を終えました。

その後代表者の間で、今後の年に一度の総会は各地域が持ち回り主催することが決定されました。すでに2027年はJAMSNET日本のメンタルヘルスネットワークが主催することが決まっています。今年のJAMSNETワールドの主催国がカナダであることから、現在カナダ代表の許斐由紀子氏がJAMSNETカナダのワールド実行委員会と相談し、第2回総会の内容についてを検討されています。

今月初めに遅れていたJAMSNETワールドメンタルヘルスネットワーク専用メーリングリストが作成されました。今後このMLを用い、世界に散らばる約100名のメンタルヘルス臨床家による相互的連携、協力、サポートを行って参ります。

メンバーによる主な活動:

11月15日(土)

ニューヨーク補習授業校

ニューヨーク日本人教育審議会教育相談室主催

高校生・教職員対象「学習支援ツールの活用」ワークショップ

講師：東京大学先端技術研究センター教授・研究員

ページをなぞると読み上げてくれる電子ペンなどのツールが紹介された。高校生からも日米の学校教育現場での体験に基づく意見交換が活発に行われ、障害の社会モデルに関して改めて考える良い機会となった。

11月30日(日)

朝日新聞主催 教育者向けウェビナー

講師：バーンズ静子氏 スクールサイコロジスト

アメリカの学校では多層支援システムを使って、学習面、行動面、メンタルヘルス面でのサポートをしている現状を説明した。600人以上の参加があった。

1月20日(火)

「海外での特別支援教育」ウェビナー

4月に全世界の日本人学校、補習授業校に派遣が内定している教員・管理職500名対象

講師：バーンズ静子氏 スクールサイコロジスト

今までの JAMSNET のネットワーク(ドイツ、フランス、シンガポール、マレーシア、ベトナム等)から得た情報も共有しながら、日本語のリソースが少ない海外で学校ができる対応について解説した。

福島県の遠方支援：

数日前にバーンズ静子氏が福島県の3つ学校を訪ね、支援者支援の活動行いました。

現在仕事でアジアを訪問中のため、アメリカ帰国後に改めて文書でご報告します。

YM ネットワーク

団体の存在意義として、JAMSNET 内でのメンバーシップで団体として参加できない個人の邦人支援者の方々に向け、どの様にサポート出来るかを検討中。

Care the World (ケア・ワールド)

今年度もよろしくお願い致します。Care the World では海外にお住いの日本人ご家族の生活面、精神面、医療面、教育面でのサポート行っております。

メンタルヘルス カウンセラーとして・・・メンタルヘルスネットワークでも話題に上がりましたが、このところ気になるのが Social Media の利用が低年齢化しつつあることです。人と会うのが怖い、不安でならない、学校へ行きたくない、やる気が起こらないなどの症状をもつ若いクライアントの多くがなんらかの形で social media の影響を受けています。大人であればある程度流せることでも、子ども達は真剣に受け止め、悩みます。ましてや自分がうわさの対象になるとどこへも逃げられない事態を感じます。こればかりは国をあげて、なんらかの形で子ども達をこれらの social media から守るしか手立てはないように思われます。

昨年末に行われた講演「不登校：アプローチとシステムの日米比較」のビデオ収録が Youtube にアップロードされましたので、お時間のある方はご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=EnhwxGihVLY&t=99s>

医療通訳士としては・・・時に倫理的な問題に出くわします。先日はクライアントの娘さんが「先生、実際はこうなんです。」と老齢のクライアントが聞こえないのをいいことにドクターに実情をささやいていました。私は「クライアントが聞こえる範囲にある会話はすべて訳します」と伝えていますが、果たしてこの真実を伝えることによってクライアントと娘さんの信頼関係が崩れるのではないかといった余計な心配が頭の中をよぎりました。

海外出産・育児コンサルタントとして・・・アメリカの医療システムにおいては多くの日本人が戸惑いを感じるどころです。先日は喘息を患った 2 歳のお子さんのお母様のご相談にのりましたが、ネブライザーはどこで手に入れるのか、患者が買うのか、それとも医療保険がカバーするのか、貸してくれるものなのか、などシステムがわからないことからくる疑問はいくつもあがります。それ以上に彼女が母親として英語が話せないことから、質問ができないという腹立たしさとむなしさにコンサルタントとして心を配る必要性を感じました。

JB Line 活動報告

2025 年 12 月～2026 年 2 月

以下の活動を継続しています。

- ① 日英対応サポートライン
- ② ケースマネジメント
- ③ シニアサポート
 - a. ふれあい訪問:訪問先が 1 件増え、8件訪問中。さらに 1 件準備中。
 - b. サポートグループ(おしゃべりの会、歌の会、フィットネス)
 - c. 長寿お祝いギフト:1 月から受付開始。
- ④ 親子支援
 - a. 親子支援 MeetUp: 12 月オンライン MeetUp「バケーションの過ごし方」活発な情報交換が行われた。
 - b. 子育てサポートグループ: 12 月「赤ちゃんの社会性を育てる」1 月「産後のパートナーシップ:家族のチーム作り」2 月「産後のセルフケア:寝不足解消の知恵」
 - c. 新企画「子育て広場」: 対面茶話会形式の集まりを 2 月に予定。
 - d. 新生児に絵本を送るプロジェクト: 12 月で受付終了。
 - e. 産後相談
- ⑤ 郊外支援: 今年の春と秋のおむすび交流会を計画中。
 - 12 月には、ボランティア交流会を開催、ボランティアの皆さんと楽しく過ごしながら、2026 年の方針を共有しました。
 - またこの期間、ボランティア研修も数回実施、新しいボランティアが増えました。

以上

AADA(Asians Against Domestic Abuse, Inc .)

報告期間：2025年11月1日 - 2026年1月31日

1. 研修活動

- 11/5 ハーグ条約室オンライン研修

外務省主催のオンライン研修に参加。実際の事例について各地のDV被害者支援団体と共有し意見交換を行った。

- 12/22 ボランティア向け DVクライアント対応心得

傾聴ボランティア希望者を対象に、AADAの提携カウンセラーによる研修を開催した。あわせてAADAスタッフも参加し、学び直しの機会とすることができた。

2. 広報活動・アウトリーチ

- 11/7 Night Market

The Asia Society Texas Centerが主催するNight MarketにAADAとしてブースを出し、来場の方々に活動内容を周知した。

- 11/11 AADA ファンドレイジングイベントを開催

日頃団体の活動に共感してくださる方やヒューストンの著名な方々をご招待し、活動の周知を兼ねたファンドレイジングイベントを開催した。

- 11/21 Southeast Asian and Pacific Islanders (SEAPI night)

Rice Universityが主催する東南アジア・太平洋諸島の文化遺産を祝うイベントにAADAとしてブースを出し、来場の方々に活動内容を周知した。

- 1/9 ヒューストン総領事館開催新年会参加

ヒューストン総領事館公邸にて開催される新年会に参加させていただいた。ヒューストンはじめ、サンアントニオ、オースティンといったテキサス州の他の都市およびオクラホマ州で活動する日本人団体や企業の方々に挨拶する機会を得、活動内容を周知した。

3. その他お知らせ

- 在ダラス日本国名誉領事・七条様よりお声がけをいただき、七条様がダラスにて主催する日本人ボランティアグループの形成およびフードバンクでのボランティア活動について、その活動をヒューストンにも展開するための事務局業務をAADAが行うこととなった。今後、本イベントを通じてAADAの活動をより広く周知できるものと期待している。

日米ケア

2026年2月12日

日米ケアは日本とつながりのある方の心の健康を促進するための活動を行っています。メンバーは精神科医、臨床心理士、ソーシャルワーカー、サイコセラピストなど、主に心のケアに関わる資格を持つ者で構成されています。

2025年11月から2026年1月までの活動は運営陣の planning ミーティングのみでした。

東京ーフロストバレーYMCA パートナーシップ

80回 2026.2.12

1. ファミリーキャンプ

年末ファミリーキャンプがフロストバレーYMCA で開催され、日本に縁のある4家族が参加をした。当日は積雪に恵まれ雪遊びを存分に楽しむことができた。次回は新緑の美しい早春(4月末)に開催される。

2. サマーキャンプ

- ・スタッフ募集並びに選考がニューヨーク在住の日本に縁のある高校生、大学生を中心に進められている。日本からも若干名の採用を予定している。
- ・サマーキャンプオンライン説明会を随時開催している。
- ・親も子も安心して参加できるようにオープンハウスを以下の日程で実施する。

日程:3月22日(日)・4月19日(日)

以上です。

折り紙療法協会(OTA)

『日付,場所,イベント,主催,備考,詳細および振り返り

11月23日 11:00-12:00 オンライン (Zoom)

折り紙の日記念ワークショップ, OTA, 講師:小林利子、朴恩紅

「折り紙の日(11/11)」を記念し、感謝祭に関連した「折り紙の七面鳥」と「給餌トレイ」を共有。

12月5日 16:30-19:30 対面形式

OTA 忘年会, OTA, 講師・スタッフ:Sheng Hung、Kamila、Yuriko、小林、恩紅

昨年イベントの振り返りや感想、2026年の計画について話し合い、最後に講師全員で折り紙を折った。

12月20日 9:00-10:00 オンライン (Google Meet)

OTA 年末折り紙ワークショップ, OTA, 講師:Ping Rong Chen、小林利子

万能容器の折り方と重ね方を紹介。講師の Ping Rong 氏を含め、台湾から深夜に参加した人もいた。

1月17日 15:00-17:30 対面形式

OTA 新年会, OTA, 講師:Kamila、Mikiko、Miyuki、Yuriko、小林利子、Toshiko O. (および愛犬)

昨年イベントの振り返りと2026年の計画について話し合い。最後に小林氏が「馬」の折り紙を共有し、全員で折った。

1月24日 10:00-11:00 オンライン (Google Meet)

OTA 新年折り紙ワークショップ, OTA, 講師:小林利子、副講師:朴恩紅

小林氏が Google Meet を主催し、参加者と「馬」の折り紙を共有した。

2月12日 9:00-13:30 対面ワークショップ

第31回文化祭(ハンターカレッジ、ニューヨーク)、OTA および NECTJ 文化祭実行委員会

講師:小林利子、Yuriko、Miyuki

折り紙ブース:折り紙体験を交えた日本語レベルのアンケート調査を実施。

〈オブザーバー参加〉

米国日本人看護協会 Japanese Nurses Association of America(JNAA)

2026年2月

1. 米国日本人看護協会設立の背景と目的

当グループは、現在はまだ非営利組織として正式に設立されていないものの、アメリカで活躍する看護師、看護師免許取得を目指す日本人、ならびに看護学生を対象とした交流と学びの場として発足しました。

在米日本人看護師や看護学生は、言語や文化の違い、医療制度の複雑さ、情報不足など、さまざまな課題に直面しています。そうした状況の中で、互いに交流し、知識や経験を共有し、つながり、支え合うことを目的に本グループの活動を開始しました。

さらに、第二の大きな目的として、アメリカに暮らす日本人コミュニティに対し、看護の専門性を生かした支援やサービスを提供することを掲げています。

本グループは、在米日本人看護師の成長と連帯を促進するとともに、看護を通じて社会に貢献する持続可能な組織へと発展することをビジョンとしています。

2. 活動開始と運営体制

昨年より、有志の在米日本人看護師が中心となり、コミュニティおよび看護師を対象としたイベントの企画・運営を開始しました。活動は、看護師それぞれが専門分野や経験を持ち寄り、企画立案、運営、当日の実施までを協力して行う形で進められています。

また、日系人会主催で毎年開催されるヘルスフェアへの参加を通じて、地域社会との連携を深め、日本人コミュニティに対する看護支援の実践を行っています。

これらの活動は、在米日本人看護師の社会的役割を可視化し、コミュニティとの信頼関係を築く重要な機会となっています。

3. 主な活動内容

(1) 春のヘルスフェアへの参加

春のヘルスフェアでは、「あなたの健康を支える看護のカタチ」をテーマに、コミュニティ看護のニーズに関する意見交換会を開催しました。参加者からは、支援体制の現状や課題、医療サービスを受ける際の障壁や困難な点などについて意見をいただきました。

少人数ではありましたが、一人ひとりの声に丁寧に耳を傾け、貴重な示唆を得る機会となりました。



(2) 秋のヘルスフェアへの参加

秋のヘルスフェアでは、大腸がんスクリーニングに関するミニレクチャーを実施した後、看護師が以下のコーナーに分かれてサービスを提供しました。

- バイタルサイン測定コーナー
- 健康相談コーナー
- Google Translate 使用案内コーナー

参加者が医療情報にアクセスしやすくなるよう、実践的な支援を行いました。



また、NY 日系人会 (JAA) とのコラボレーションで医療代理人指示書 (Health Care Proxy) 作成のサポートをしました。

(3) セルフケアセミナーの開催(12月)

12月には、セルフケアをテーマとしたセミナーを開催しました。講義の後、看護師によるハンドマッサージの提供を行いました。このイベントに向けて、看護師はハンドマッサージの技術を学び、自宅や職場で練習を重ねて準備を行いました。

参加者からは「リラックスできた」「看護師の温かさを感じた」といった声が寄せられ、大変好評なイベントとなりました。

これらすべてのイベント時にはお茶と茶菓子を用意し、参加者が安心してくつろげる雰囲気づくりを心がけました。



4. 活動の成果

少人数からのスタートではありましたが、参加者は徐々に増加しており、看護師およびコミュニティのつながりが少しずつ広がっています。

本グループの活動は、在米日本人看護師同士のネットワーク形成だけでなく、日本人コミュニティへの看護支援の可能性を示す第一歩となりました。

5. 今後の予定と展望

2026年2月には、看護師を対象とした交流会(Nurses Meet-Up)の開催を予定しています。

また、今年度も日系人会主催の春・秋のヘルスフェア参加を予定しており、引き続き地域コミュニティへの貢献活動を継続していきます。

将来的には、より継続的で体系的な支援体制を構築し、在米日本人看護師・看護学生および日本人コミュニティを支える組織として発展することを目指しています。

おわりに

本組織の活動は、在米日本人看護師のつながりを深めるとともに、日本人コミュニティの健康支援の新たな可能性を示すものとなりました。今後も、看護の専門性を生かし、地域社会に貢献する活動を続けてまいります。

お問い合わせ先

米国日本人看護協会 (Japanese Nurses Association of America)

Email: fukuokay@zohomail.com (仮)

Facebook: アメリカ日本人看護師・介護士会(仮称)

以上 20 団体から報告